



かなざわ

民児協だより

2024.2

第59号

金沢区役所 福祉保健課
横浜市金沢区泥亀 2-9-1
Tel. 788-7820

発行責任者 金沢区民生委員児童委員協議会 会長 寺木 好子

16地区の会長です。よろしくお願ひします。



富岡第一地区
米山 博美



富岡第二地区
工藤 章



富岡第三地区
浅野 秀子



富岡西・能見台地区
齋藤 直美



能見台地区
橘川 和夫



金沢シーサイドタウン地区
篠原 淳子



金沢東部地区
田中 恵子



金沢中部地区
萩尾 愛枝



金沢南部地区
関根 とみ江



金沢地区
奥富 妙子

赤ちゃん、子ども、青少年、
障害のある方、ご高齢の方、生活のこと、
介護のこと、子育てのこと、お金のこと、
福祉サービスのこと、
私たちに気軽にご相談ください。
守秘義務があります。
プライバシーは守ります。



六浦東地区
出浦 秀司



六浦地区
川見 みゆき



六浦西第一地区
吉野 郁世



金沢区幸せお届け大使
ぼたんちゃん



六浦西第二地区
長瀬 美鳥



六浦西第三地区
鈴木 節子



釜利谷地区
寺木 好子



主任児童委員代表
魚谷 晶子

担当の民生委員・児童委員がお分かりにならないときは、
金沢区役所福祉保健課 (TEL: 788-7820)
または自治会町内会へお問い合わせください。

研修企画部会の活動紹介

★新任民生委員・児童委員サポート研修 令和5年7月31日 於：金沢公会堂会議室

52名の新任の方が参加されサポート研修が行われました。今年度は、福祉保健センターから福祉保健課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課、生活支援課と区社会福祉協議会、そして先輩民生委員お二人からのお話がありました。

【参加者の感想】

- 地域の方が安心して暮らせるためのつなぎができるような説明があり良かった
- 各課の責任者の方から直接お話をさせていただけたので分かりやすかった
- 一人で頑張らず、仲間づくりをし、任せるところは専門家
にお願いをする
- 自分でできる民生委員の役割を考えることができた
- 先輩からの貴重な体験談は、心強いエールと感じた
- どこの部署が大事なのか、どこに繋がれば良いのかお話が
聞けて良かった



【全体の感想】

特に先輩からの生の声は参加者の今後の糧になると実感しました。新任の方々の今後に役立てていただけることを願い、真夏の日を終えることができました。

★全員研修“意見交換会” 令和5年11月28日 於：金沢区役所会議室



188人の委員が28グループに分かれ、2つのテーマ「①民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために」「②地域、地区での災害対策」に沿って意見交換を行いました。

グループ内では、初めて顔を合わせる方がほとんどだったと思いますが、話し合いが進むにつれて打ち解けた様子で、自分の地区で行っている事業や、自身の活動をグループの皆さんに伝えていました。本当の意味での意見交換（情報交換）の場になっていたと感じました。

寺木会長の開会あいさつでは、「ぜひ、自分の地区の良いところをたくさん発表して、そして他の地区の良いところもたくさん学んでお土産にしてください」とありました。どのグループからも「その情報がほしい」「それをうちでもやってみよう」などの声が聞かれ、実りある意見交換会となりました。

コロナ禍では、全員で集まる交流の場を設けることはできませんでしたが、多くの方のご協力により、今年度は全員参加での意見交換会を開催し、いろいろな地区の方々と交流することができました。

令和5年度「全員協議会」開催

5月12日に金沢公会堂で201名の委員が出席し、開催されました。各事案の報告・審議後には、横浜創学館高等学校生徒会によるボランティアなどの活動紹介と、区民栄誉賞を受賞したチアダンス部による全国レベルの演技披露がありました。はつらつとした若いエネルギー溢れる演技に会場からの拍手が鳴りやみませんでした。



主任児童委員の活動紹介

★4年ぶりの中学生によるチャリティー縁日！ 令和5年10月21日 於：海の公園

10月21日に開催された「金沢まつりいきいきフェスタ」。秋晴れの海の公園で、金沢区内の中学生ボランティアによる縁日を行いました。

各校から参加してくれた22人の中学生が、フランクフルト・のみもの・ヨーヨー釣り・わなげ・ぬり絵の5ブースに分かれて、ポスターや看板作成、呼び込みや



販売、子どもたちの相手など、それぞれの個性を發揮して活躍してくれました。

配布した「ぼたんちゃんメダル」の数と同じ、1,000の笑顔を送った中学生たち。

集められた43,270円（募金含む）は、日本赤十字社を通じて「令和5年7月7日からの大雨災害」への義援金として、各被災地へと送りました。



★ヤングケアラー研修 令和5年11月24日 於：金沢区役所会議室

一般社団法人 Omoshiro より、代表理事の勝呂 ちひろ様、相談支援専門員の武田 茉里様を講師としてお招きし、「なぜ今、ヤングケアラーなのか」を多くの事例を踏まえてご講演いただきました。

Omoshiro は子どもたちを含め、困りごとを抱えた人たちのニーズに応えるケアマネ事業を行っています。ケアマネ事業所は高齢者を対象としているという固定観念があった私たちは、目から鱗が落ちる思いでした。

次に印象に残ったことは、「親子まるっと伴走支援」という言葉です。「親と子ども、両方の支援を同時に多方面から行わないと、子どもの成長に合わせた支援ができないこと」、「親子にとって何が必要なのかを把握して、学校や行政、ヘルパーさんなどと連携すること」、「子ども自身には何でも話せる、受け止める大人がいると知ってもらうこと」が、いかに大切なのかを学びました。

この研修を通じて、「子どもたちが発する小さなサインに気づき、想像してつないでいく」＝「伴走支援」ができる地域にしていきたいと心から思いました。



金沢まつりいきいきフェスタ(コーヒースタンド)

10月21日に海の公園で、いきいきフェスタが盛大に行われました。私たち委員は、コーヒースタンドを出店し、今年度から相談コーナーも設けました。

清々しい青空の下、大勢の方々がコーヒータイムを楽しんでいました。相談コーナーでは身近な困りごとなどのお話を伺うことができました。



富岡第一

「横浜こどもホスピス」を見学



6月22日「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち」を見学しました。

日本ではまだ2箇所しかなく、生命に関わる病気の子どもが病院だけで過ごす日常から離れ、家族や友達と遊び笑い合える場所として誕生しました。大人数で乗れるブランコ、星空に見立てた照明、個室から寝たまま移動できるリフトなど、楽しくも安全に過ごすことができる設備が数多くありました。4年ぶりに訪問研修ができたので、今後の活動に活かしていきたいです。

富岡第三

すくすく育て！七夕まつり



毎週金曜日開催の子育てサロン「富岡すくすく広場」で7月7日に七夕まつりを行いました。大きな笹に委員と地域の方による手作りの飾りと、お母さんお子さんの

願い事を書いた短冊をつけて、素敵な七夕飾りの完成。それから委員による手遊び歌や、パネルシアター「三びきのこぶた」を楽しみました。笹飾りを小枝に分けると皆さん喜んで持ち帰られました。七夕の夜、星に願いが届いたことでしょうか。私たち委員も子どもたちがすくすく育つことを願っています。



富岡第二

福祉施設訪問研修

8月19日小規模多機能型居宅介護「ふくふく富岡」にて訪問研修を行いました。「いつも“ふくふく”とした笑顔で、笑い声がたえない、居心地の良い場所作りを目指します」という理念の通り、施設内は笑顔が溢れていました。通い、泊まり、訪問を柔軟に組み合わせ、一人ひとりが可能な限り自立した日常生活を送ることができるように支援が行われています。介護施設には「小規模多機能」や「看護多機能」などそれぞれの特徴があることも知り、とても有意義な研修となりました。



ふくふく富岡職員と民生委員

富岡西・能見台

「りんごの森」から学んだこと

この地域では能見台・富岡両地域ケアプラザと協力し、高齢者や障害のある方の支援を行っています。今年度は「金沢地域活動ホームりんごの森」の見学を行いました。障害のあるお子さんへの手厚いサポートや、そのご家族の方々の交流の場などがあることを学び、今後の活動に活かしていきたいと思いました。また、きれいなドライフラワーの手作りブーケやおいしいパンの販売もあり、とても素敵な施設でした。今後もりんごの森と交流を続けていきたいです。



広告

能見台 地域に溶け込む活動を

ここ数年のコロナ禍中、控えられていた様々な活動も昨年度あたりからは再開の兆しが見られ、「夏まつり」「能見台地区フェスタ」などが開催され再び住民がこぞって参加できるようになりました。「能見台地区フェスタ」には民児協のブースも設けられ、民生委員の活動を知ってもらうとともに、参加者の方の憩いの場となりました。9月には、地域の高齢者と共に伊豆へのバス旅行を企画。「三嶋



大社」「仏の里」他いろいろな場所に立ち寄り、交流の場を広げる機会ができました。

金沢東部 学びをプラスに

コロナが5類になり、7月には4年ぶりの施設見学を実施。「とことこ」「りんごの森」「特養ホームわかくさ」に伺うことができました。秋にはコロナ禍にスタートした高齢者スマホ教室の再開、ささやかな贈り物をお届けする高齢者訪問活動も継続、他にも地区社協行事のお手伝い等を予定しております。これからも人と人の繋がりを大切に、地域の皆さまが笑顔で安心していただける活動を心掛けながら、仲間と共に誠意を持って取り組んでまいります。



に伺うことができました。秋にはコロナ禍にスタートした高齢者スマホ教室の再開、ささやかな贈り物をお届けする高齢者訪問活動も継続、他にも地区社協行事のお手伝い等を予定しております。これからも人と人の繋がりを大切に、地域の皆さまが笑顔で安心していただける活動を心掛けながら、仲間と共に誠意を持って取り組んでまいります。

金沢シーサイドタウン 新企画で開催したサマーフェスタ

今夏4年ぶりに連合自治会主催「サマーフェスタ」がふなだまり会場で開催されました。民児協は、関係機関との連携強化を目的とし、一つのテントで協働出展をしました。並木・富岡東両地域ケアプラザの協力によるアンケート調査の実施、横浜なみきりハビリテーション病院は健康チェック、民児協は駄菓子販売と大道芸の方によるバルーンアート実演を行いました。多くの子どもたちが行列する程の大人気でした。今回の参加で各団体の方々との交流ができ、また、委員同士の親睦も深まり有意義な二日間となりました。



金沢中部 つながり続ける中部地区



民生委員・児童委員8名、主任児童委員2名の10名で活動しています。定例会の雰囲気はとてもフランクで、活動における疑問や悩みを、みんなが自分ごととして話し合っています。6月には「樹診療所かまりや」の内田太郎先生をお招きして、認知症の方を地域でサポートするための研修を行いました。これからも、各自治会町内会や地区社協、ケアプラザなどと協力しながら、「地域とつながり合う」活動を続けていきます。



広告

金沢南部 民生委員のやりがい

高齢者や子どもたちとのふれあいを大切にして活動を進めています。そういった中で、高齢者とのふれあいでは、「そろそろ来てくれるかな?と言われた時」「お互いを思い合っていることを実感した時」、お子さんたちとのふれあいでは、「子育てサロンでママが笑顔に変わって行く瞬間」「笑顔に囲まれる時間を共有した時」などに日々喜びを感じたり、逆に元気をもらったりしています。皆さんも一緒に喜びを共有しませんか!



六浦東 「柳町地域ケアプラザ」訪問研修



ケアプラザ職員と民生委員

日頃お世話になっている柳町地域ケアプラザを訪問してきました。デイサービスでは、職員の方々が温かく優しく支援されている様子を見学させていただき、誰もが迎える老いに対して、多くのことを学ばせていただきました。また、地域の現状を発表し合う中では、ケアプラザとのつながりをより一層密にし、連携を深めていく必要性を感じました。これからも地域の皆さんのニーズに合わせた支援を進めていけるように、今回の研修を役立てていきたいと思ひます。

金 沢 世代交流のバーベキュー大会

委員 15 名で活動しています。今回は金沢地区連合町内会主催の「バーベキュー大会」をご紹介します。昨年度はコロナ禍の自粛の中で行われたのですが、今年度は4年振りに制限もなく、熱中症に注意しながら夏休みに行うことができました。



各自治会町内会ごとに大勢の人が集まり、お元気な高齢者の方々と交流もでき、楽しい時間を過ごすことができました。今後も地域を見守りながら、皆さんとの交流を大切にしていきたいと思ひます。

六 浦 より良い活動を目指して

平潟湾を間近に臨み歴史のある六浦地区。8つの自治会町内会から成り立ち、22名の委員で活動しています。令和4年



の改選と令和5年の欠員補充で新たに8名が委嘱されました。より多様で新しい視野を取り入れつつ、今までの実績を踏まえてより良い活動を目指していきます。コロナ禍の出口がようやく見えてきたことで、積極的に外部研修も行っていこうと、令和3年に開所した「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち」を12月に訪問しました。

広 告

六浦西第一 3つの研修を行って



懐かしい思い出を語り合う「回想法」は心のリハビリと言われ、認知症予防に効果があるとされています。8月、実際に体験してみました。小学生の頃の記憶を辿りながら「そうだったね」と頷いたり、笑い合ったりと、充実した研修会でした。6月には「久里浜医療センター」での訪問研修。依存症全般について学び、子どもから高齢者まで地域での見守りの大切さを実感しました。1月には「傾聴」研修でスキルアップ。委員自身も“楽しむ”をプラスすることができました。



六浦西第三 南川ふれあいサロン

毎月第4火曜日の10時から2時間、ふれあいサロンと称した茶話会を開催しています。地域の高齢者の方々がおいしいお茶とお菓子を味わいながら、和気あいあいとおしゃべりを楽しんでいます。月1回、お仲間と顔を合わせることが、皆さまの元気に繋がっていると実感する一時です。笑顔で「いつもありがとう」とおっしゃっていただけることは、私たちのやりがいにもなっています。



六浦西第二

「フードバンクかながわ」を訪問

8月下旬、鳥浜駅近くにある「フードバンクかながわ」を訪問しました。フードバンクは様々な理由で流通されなくなった食品を引き取り、福祉施設へ無料で提供する活動を行っています。職員の方の説明を受け、期限ごとに食品を分けたり、お米を小分けしたりする体験をさせていただきました。廃棄されていたかもしれない食品が支援を必要とする人を笑顔



にしていると、改めてフードバンクが社会に果たす役割の大きさに心を打たれました。

釜利谷

おかえり、みんなの笑顔

高齢者の方を対象とした「仲よし会」「おしゃべりサロン」「禅」など会話の場を設けています。他にもゲーム、手芸、バス旅行などを企画し皆さんに楽しんでいただいています。また、元保健活動推進員の方々と共に、0歳～未就学のお子さんをもつ親御さんに情報交換と親睦の輪を広げる場「ポッポの会」を設けている地区



もあります。多くの方が顔を合わせて交流ができる場をこれからも設けていきたいと思えます。



金沢区幸せお届け大使
ぼたんちゃん

いろいろな活動が
あって楽しそう
だね!

地域の強みや特色を活かして
活動しているよ。
応援してくれる人もたくさん
いて、すごくやりがいがある
だね!



横浜市版
民生委員・児童委員キャラクター
よこはまミンジー

地域の福祉、
みんなで参加

赤い羽根
共同募金

令和5年度街頭募金実績

271,073円

10月1日に、16地区の民生委員・児童委員の活動により集まった募金総額です。皆さま、ありがとうございました。

*この広報誌は、共同募金配分金から一部助成を受けて作成されています。

地区会長・副会長研修 10月31日

「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」にて訪問研修を行いました。内装デザイン、うみそらの湯、お庭のブランコ、灯りのおうちなどどれをとっても素敵で過ごしやすくできていました。家族で思い思いに過ごした後、子どもたちは「あ～楽しかった」と言って帰るそうです。日本中から寄せられた温かい思いでできていることを知り感激しました。また、場所を移し、今回初めて会長グループ、副会長・主任児童委員代表グループに分かれ、意見交換を行いました。活発な意見交換となり、地区ごとの違いや良さを学びました。



こどもホスピスでの研修

ひとり親世帯への食支援 11月25日

コロナ禍で活動が制限される中、私たちに何かできることはないかという気持ちで始まったこの活動も、3回目となりました。区社協と協力をして、手書きのメッセージカードを添えた民生委員からのプレゼントを準備。来場者から「心のこもったメッセージに嬉しくて涙が出そう」「明日からもお仕事を頑張れそう」という声が届きました。子どもたちの笑顔と「ありがとう」のひとことで、私たちもしあわせを感じる一日となりました。



いきいきセンター金沢にて

令和5年度 表彰受賞者

★全国社会福祉協議会会長表彰
民生委員・児童委員功労表彰
寺木 好子 関根 とみ江

★全国民生委員児童委員連合会会長表彰
民生委員・児童委員功労者表彰(20年)
田中 恵子

永年勤続民生委員・児童委員表彰(10年)
田野崎 友子

★横浜市社会福祉・保健医療功労者市長表彰
25年 鈴木 節子

10年 石川 潤一 岩室 誠子 上野 恵子
大川 智子 加藤 悦子 川島 覺
木村 圭子 工藤 章 黒川 幸江
小池 光世 後藤 和行 崎原美佐緒
佐々木 優 島谷恵津子 鈴木 晴美
鈴木 博子 竹島 京子 中村美弥子
平島 寿史 深津早百合 福島 典子
藤又 康 細川 由紀 本江 祥江
松山 繁子 宮地 博志 山口 克枝

編集委員

吉野 郁世 篠原 淳子 竹 里佳 岡田真理子
山口 克枝 能代茉莉花 桑原 伸子 木内志保子
濱石 祐子 崎原美佐緒 緒方 芳樹 鈴木 市江
深津早百合 久保田千栄 井川こずえ 大川 玲子
水谷多美恵 前田 成子 中村 紀子
寺木 好子 (区会長) 鈴木 節子 (区副会長)

編集後記

コロナ禍の制限があげ、心配しながらも16地区で様々な活動が始まっています。共有したいこと、活動の参考にしたいことなど、皆さまに読んでいただけるように心を込めて編集いたしました。

社会状況が変わる中でも、日々の活動の見守りや発見は「うけとめてつなぐ」ことだと思います。活動しながら多くのことを学び、共に助け合いながら、皆さまの笑顔のために励んでまいります。